

「嘘をつかない」「親切にする」「勉強をがんばる」「ルールを守る」。この四つができている子は、成長して大人になったとき、成功を収める割合が高いのだそうです。

ある複数の大学の研究チームが、①ルールを守る②あいさつをする③他人に親切にする④勉強をする⑤親の言うことを聞く⑥嘘をついてはいけない⑦ありがとうと言う⑧大きな声を出す、という八項目のしつけについて、『子どものところに周りの大人からよく言われたかどうか』を尋ねる、アンケート調査を実施しました。その分析の結果、八つのしつけの中でも、特に冒頭の四つのしつけを子どもの時に受けた人は、そうでなかった人よりも高い倫理観を持ち、学習や仕事でより多くの成果を上げられるようになる、という研究発表を出していました。

先日、全校児童の前に立つ機会があり、この調査結果の内容を自分なりにアレンジして話をさせてもらいました。まず、カウベルを「チャリン・チャリン」と鳴らし、話をスタートしました。

「家族が大事にしている物や学校の物を壊してしまった時などに、怒られるから黙っている、知らん振りをする。そんなみんなが悲しくなるような『⑨それはつかない』で、『ごめんなさい』と謝る素直で正直な心が持てる」とい

ね。というのが一つ目の話でした。

二つ目は、「友だちが持ち物をなくして落胆していたら一緒に探す。荷物を運ぶのが大変そうな人に手を貸してやる。困っている人を見かけたら進んで助けてあげられる『⑩んせつにできる』子になって欲しい。」という話をしました。

三つ目は、「今のみんなの一番の仕事は『⑪んきょうをがんばる』ことだね。一時間一時間の授業を大切にす。出された課題をしっかりと行う。そして、一年生は十分、二年生二十分、三年生は一時間を目安に毎日、家庭学習を行う習慣を付けられるといいね。」

そして四つ目は、「学校や家の決まりを守る。たとえばテレビゲームは時間をしっかりと決めてやる。家の人が留守だからどんどんやっちゃうとか、暗くなっても家に帰らないで心配をかけるという事がないようにしてもらいたい。家族との約束や『⑫ルールを守る』ことができる子になって欲しい。」

話の結びに、「四つのキーワードの頭文字を取って『う・し・べ・ル』と覚えておくと、思い出しやすいね。」と締めくくりました。

子どものときに当たり前のしつけを徹底すれば、より高い規範意識を持ち、学習や仕事でより多くの成果を上げられるという事を信じてほしいものです。鉄は熱いうちに打ってこそということでしょうか。

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第275回

# 「うしべル」

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市市民会議編集委員

## 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：行政管理課 秘書広報担当

## 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄